

立川市立立川第一中学校

立川市立立川第一中学校 2年 “模擬就職面談”と “職場体験活動”の連動

立川市立立川第一中学校では、「進路指導」に先進的に取り組み、平成10年度からは、地域ロータリークラブ、商店会、PTAなどの協力を得て本格的に「職場体験」を展開しています。

平成15年度には、地域ロータリークラブ主催による“模擬就職面談”と連動させて「職場体験活動」を実施するなど、新たな実践にトライしています。



約120名の生徒が参加。職種ごとに、21のテーブルに分かれ直接面談を行う。

1 地域ロータリークラブと連携した「模擬就職面談」(7月)

「将来を担う子どもたちを育成していきたい」という地域ロータリークラブからの申し出がきっかけとなり、2年生が市内のホテルで“模擬就職面談”を体験。



各テーブルに生徒が5・6人、業種の方が2・3人ずつ座り、仕事に就いたきっかけややりがい、必要な資格など、経営者や専門家のお話を伺うことができた。

面談した21職種

- | | |
|-------------|---------|
| 1.建築 | 12.ホテル |
| 2.設計 | 13.旅行 |
| 3.医療 | 14.広告 |
| 4.教育 | 15.物販 |
| 5.コピ 1-タ・通信 | 16.弁護士 |
| 6.電力・ガス | 17.司法書士 |
| 7.印刷・製造 | 18.不動産 |
| 8.政治 | 19.芸術 |
| 9.美容 | 20.食品 |
| 10.宗教 | 21.百貨店 |
| 11.金融 | |

2 地域ロータリークラブや商店会の協力を得た「職場体験」の実施（10月）

「模擬就職面談」に出席した地元企業等の方や地域商店会の協力を得て「職場体験」を実施。約120名の生徒が、2~15人のグループに分かれて活動を行った。活動先は、コンピュータ・通信、葬儀、警備、建設などの会社や、病院、デパート、ホテル、銀行、豆腐店、自転車店など、23か所の企業・商店。

「進路指導」の3年間の主な取組と 「職場体験」の位置づけ

- 1年：身近な人を対象とした職業調べ
- 2年：職場体験、学校訪問
- 3年：進路指導、進路選択



病院でベッドメーキング

ロータリークラブから寄贈されたエプロンを着用して活動しました。

※職場体験活動の充実のために、立川市立中学校長会が中心となって市内の関係団体に活動機会の提供をお願いするなど、各学校単位ではなく立川市全体の取組となるよう新たな働きかけも行っています。

- #### 「職場体験」のねらい
- 勤労観や職業についての意識を高め、自立を図る機会とする。
 - 自分の将来の進路選択に生かす。
 - 地域の人々とのふれあいを深める機会とする。